



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ジャンプ！」

国際会長主題 「命の川を信じよう」	Jacob Kristensen (デンマーク)
アジア太平洋地域会長主題 「変化をもたらそう」	David Lua (シンガポール)
西日本区理事主題 「Let's do it now!」	吉田 裕和 (京都トウビー)
中部部長主題 「知らせよう! ワイズの奉仕活動を」	早川 政人 (名古屋グランパス)
名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』	

今月の聖句

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおりに、妻を迎え入れ、男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。
(マタイによる福音書2章23節～25節)

強調月間 EMC-E(Extension Membership&Conservation)・YES(Y's Extension Support)

12月例会等ご案内

<p>◎12月第1例会 日程：12月10日(木) 18:45～ 中止します。</p> <p>◎1月第1例会 日程：1月14日(木) 18:45～ 中止します。</p> <p>◎例年行っている忘年会も今年は中止します。</p> <p>◎12月第2例会 日程：12月17日(木) 19:00～ 会場：名古屋YMCA</p> <p>◎1月第2例会 日程：2021年1月21日(木) 19:00～ 会場：名古屋YMCA</p>	<p>◎平和の使者「クリスマスカードコンテスト」 表彰式：12月5日(土) 14:00～ 南山YMCAにて</p> <p>作品展示：12月8日(火)～ 12月14日(月) 展示会場：栄セントラルパーク 「市民ギャラリー」</p> <p>◎YMCAクリスマスコンサート 日時：12月19日(土) 14:30～16:00 会場：名古屋港ポートビル4F講堂 申込：12月5日(土)までに電話・FAX 定員70名 詳細はHPを参照して下さい。</p>
--	---

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を果たそう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 11月末-在籍者20名
(内広義会員2名)

出席者 17名 (Make up 3名)
出席率 94.4%

【特別ファンド】

11月ファンド	23,110円
八木切手より	18,733円
コロナ基金戻り繰入	10,000円
合計	1,369,244円

マスク着用、手を消毒して例会会場へ。中部部長の公式訪問ということで早川部長と荒川書記を迎えての例会となった。



会長急用の為、開会宣言は山村直前会長。静かに会食を済まし、卓話はメンバーの鈴木孝幸君とボランティアセンターの坂本清則さんのお二人。

まずは「矢場とん」こと鈴木孝幸君のメンバースピーチ。仕事をする上で心掛けてきたことは、どんな良い話が合っても「本業以外のことには手を出さない」ということ。

『人が喜んでくれると自分も嬉しい』というのが自分の行動の素。そんな中でお店の前に並ぶ子どもを喜ばそうと始めたマジックだったが、その世界に引き込まれた。

最近手先の器用さを必要としない「笑い話」に凝っている。親友になった「さだまさし」との時間は笑い話の鍛えあいの時とか。暫し漫談に引き込まれ爆笑タイムとなった。

続いて携帯と矢場とんカードを使っただけのマジックを実際に経験してしばし感服。矢場とんは所謂テーブルマジックが得意で、道具もいっぱい持っているとのこと。ここでもいくつか披露されて



我々を楽しませてくれた。

カンボジアには10年間で20数回現地に行き、何もないところに学校を5校作り、国王から勲章ももらったとのこと。物資が2年分たまっているので、渡航が可能になったら社員全員を連れていきたいと思っている。

今の思いは『GNO』。今までお世話になった皆さんへの(G)義理、(N)人情、(O)恩返しに今後も努めたいと思っている。

続いての卓話はボランティアセンター担当の坂本清則さん。YMCAとの関わりは学生時代に京都YMCAでアルバイトをしたのが始まり。卒業後、名古屋YMCAに就職し、郷里の四日市 brunchの担当となった。その後三重YMCAで長く勤務し一時YMCAを離れたが、12年前に名古屋YMCAに再び勤務することとなった。

名古屋YMCAのボランティアセンターは、ボランティアセンターという名称だが、現実にはイベント屋、会員活動部という感じである。本当はボランティアやりたい人の発見や養成、そうした人と、ボランティアを必要とする人とを繋げる役割があるのではないかと思う。

ボラセンからは少し離れるが、近年自分が経験してきたことから、皆さんに是非お伝えしたいことは「奥様を大切にしてください。」とのこと。

卓話の後、チャリティーランの報告、コロナ基金より支援金を早川部長より受け取り、山村直前会長の閉会点鐘で例会を終えた。

【出席者】 浅野、大島、神谷、柴田、鈴木孝、中江、谷口、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾





11月7日(土)第27回チャリティーランが今年も名城公園噴水予定地で開催された。個人レース42名は9:30スタート、チームレース26チーム、そのうち現地でレースをした18チームは10:00スタート。チームレース優勝は瑞陵高校サッカー部、(会場での発表では別チームでしたが)支援金総額は2,567,500円となった。全てのプログラムは12時過ぎに終了。なお、全国で会場レースが実施できたのは名古屋だけとのこと。【参加者】大島、長谷川、橋爪、松本、鷲尾



東海クラブは26位「全力前進レインボー」サポート体育クラスと18位「NANZAN スポーツステップ」の2チームスポンサーとなりました



「鈴木大地」前スポーツ庁長官も参加。スターターも。閉会時には祝辞も頂きました



ラffルの当選番号は10:30には名古屋YMCAのHPにもアップされました



今年は検温も必須でした

SUZUKI REPORT

チャリティーラン当日、名城大学の講義前の束の間時間に顔を出し、柴田メン、長谷川メンらに挨拶ができました。久々に、自分が、中部地区の、そして名古屋東海クラブのメンバーであることを実感し、そのことに改めて感謝した次第です。以下、松本メンより、機会をいただき、散文風に最近の活動について報告します。

◎大阪泉北クラブ例会 10月22日(木)

3月の阪和部 YYY フォーラムでの基調講演を契機に親しくなり、10月のメイクアップとして出席しました、当クラブは、YMCA との「距離感」も近く、また例会後に飲みにケーションがあるなど、中部のクラブと近い雰囲気を感じています。



◎YMCA 学院高校「世界のドキュメンタリー」授業

国際理解、リベラルアーツ（自由学芸・一般教養）をねらいにして、参加型、討論型、行動型（フィールドワークやスタディツアー）の2時間授業を展開。ワイズに支えていただいた名古屋インターアクトクラブ顧問の経験が活かされています。



◎One World Festival for Youth 2020 運営顧問

大阪 YMCA が（財）関西 NGO 協議会、公立、私立高校の教員と運営委員会を組織、高校生が実行主体となり、延べ 6000 人が参加するイベントに、ボランティア育成顧問として参画中です。今年はコロナ禍のため、隔週の日曜に、5 時間の Online 会議を高校生としています。



◎ 第 43 回 SCM 現場研修 2021. 3/11～3/13

Student Christianian Movement（キリスト教学生運動）の略称です。毎年3月に、大阪釜ヶ崎と生野・鶴橋地区を、15名前後の大学生や社会人の青年達とスタディツアーを開催しており、2年前からこの研修事業の実行委員長を拝命しています。

上記の他、阪和部ワイズ、都市Y（所属ユース）、学生YMCA（所属ユース）の三者が協力・協働するプログラムも密かに(!?)企画が進行中でまた追って報告を致します。今後とも宜しくお願ひします。

第2例会報告

1. 12月第1例会及び1月第1例会について
コロナ再拡大を受け協議。最終的判断は太田会長にゆだねることとした。
2. 第2例会は予定通り開催することを確認。
3. 次期会長について状況報告があった。
4. 長年にわたりクラブの為に切手を寄付してくれている八木君に、感謝の表明として、図書券2万円を贈ることとした。(八木君は今もYMCAの学童保育の子ども達の為に図書の寄付を続けている。)
5. コロナ基金1万円は特別会計に繰入を承認。
6. 区から呼びかけのあったクリーンキャンペーン(ゴミ拾い活動)の運動自体には賛同するが、ベストの購入は行わないこととした。
7. クリスマスカードコンテスト・クリスマスキャロルに代わる行事について報告があった。
(1面を参照して下さい)

【出席者】浅野、大島、太田、木村、柴田、谷口、橋爪、長谷川、松本、八木、山村、鷺尾